

2024 年度シラバス

中学校 2 年



駒沢学園女子中学校

① 中学 2 年 国語（現代文分野）

単位数	5 単位の 3
担当	渡部 佳乃子
教科書	国語 2（光村図書）
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

「言葉」を楽しみ、文学作品に親しむ気持ちを育てる。

到達目標

- （ア）本を年間 30 冊以上読み、語彙力・表現力を身に付ける。
- （イ）漢検 4 級以上を取得する。
- （ウ）予習をして授業に臨み、学習の習慣を定着させる。

2. 副教材・参考書

- ・国語ワーク（光村教育図書）
- ・新国語便覧（秀学社）
- ・セレクト漢字検定 5 級～2 級
- ・新中学問題集 国語 2 年（教育開発出版）

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- （ア）予習・復習を宿題という形で随時出すので、生徒たちは必ず宿題を終えた上で授業に参加する。
- （イ）授業の内容は毎時間明確に提示し、終了時に確認する。
- （ウ）学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- （エ）提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- （ア）宿題…原則、毎時間出す。

内容は授業で学習した範囲の復習と次の授業の予習を中心とする。

- （イ）課題…1 単元終了ごとに単元別試験を実施する。レポート作成などを行う場合もある。
- （ウ）CRange テストを導入し、漢検 4 級以上の取得を目指して学習とテストを繰り返す。
- （エ）月に 1 度、新中学問題集を 1 課題ずつ自宅学習し提出する。

5. 評価の基準について

- （ア）単元別試験 50%
- （イ）学力試験 30%
- （ウ）以下の 5 点をパフォーマンス評価とし、20%

宿題の提出状況

課題の評価

小テストの得点

授業内に実施する音読や発表内容の評価

授業態度

なお、観点別評価については単元別試験・学力試験を 100%換算とし、下記の通りつけることとする。

	基本的な内容	応用的な内容	パフォーマンス評価
A	80%～100%	80%～100%	80%～100%
B	30%～80%	30%～80%	30%～80%
C	0%～30%	0%～30%	0%～30%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

CRange 実施については、以下の通りとする。

- ① 1 週間に 1 度、授業時間内で「セレクト漢字検定 5 級～2 級」内の読み・漢字検定問題演習を Microsoft Forms 上のテストにて実施。
- ② 漢字の書き問題は、新出漢字も含めて毎回の単元別試験に盛り込む。
- ③ 1 週間に 1 度、試験範囲の漢字練習を「セレクト漢字検定 5 級～2 級」に直接取り組み、提出させる。
- ④ 100 点満点、合格点を 70 点以上とし、不合格の場合は適宜課題や補習を課す。

年間指導計画

学期	月	教科書ページ 単元配当時間	授業内容（教材）	指導内容・単元目標・備考等
第一学期	4	中扉 P. 14～25 P. 38～39	詩「見えないだけ」 小説「アイスプラネット」 漢字 1 熟語の構成	・心情を表す言葉に着目して、作品の理解を深める。
	5	P. 40 P. 42～51 P. 52～53	漢字に親しもう 1 報告「クマゼミ増加の原因を探る」 情報 具体と抽象	・段落に着目して文章を読む。段落の関係、要点、要旨を理解する。
	6	P. 58 P. 68～71 P. 72～73	漢字に親しもう 2 短歌「短歌に親しむ」 短歌「短歌を味わう」	・豊かな短歌の世界を味わい、伝統的な表現やものの見方と新しい表現の融合に気づく。
		P. 74～77 P. 78～79 P. 80～81	随筆「言葉の力」 言葉 1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう	・人や言葉との出会いについて考える。
	7	P. 60～66	情報社会を生きる	
第二学期	8	P. 92～105	小説「盆土産」	・登場人物の心情を理解しながら、主題をとらえる。
	9	P. 117～119	言葉 2 敬語	
	10	P. 106～111 P. 120～121 P. 122	随筆「字のない葉書」 漢字 2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう 3	・様子や心理を表すことばに着目して、心の変化を読む。
		P. 124～131 P. 132～133 P. 138	論説「モアイは語る―地球の未来」 情報 根拠の吟味 漢字に親しもう 4	・論理の展開を意識しながら筆者の主張を読みとる。
	11	P. 170～179 P. 180～183 P. 186	評論「君は最後の晩餐を知っているか」 評論「最後の晩餐の新しさ」 漢字に親しもう 5	・観点を明確にして文章を比較する。具体と抽象の関係を理解する。
第三学期	12	P. 139～143	異なる立場から考える	
	1	P. 196～213 P. 214	小説「走れメロス」 漢字に親しもう 6	・展開を読み取り、人物の心情の移り変わりをとらえ、人物像に着目する。
	2	P. 220～221 P. 222～223 P. 144～145 P. 228～230	言葉 3 話し言葉と書き言葉 漢字 3 送り仮名 詩「月夜の浜辺」 詩「木」	・詩の基礎確認し、2 編の詩を比べ、味わう
	3	p 216～219	構成や展開を工夫して書こう	

②中学2年 国語（古典・文法分野）

単位数	5単位の1
担当	渡部 佳乃子
教科書	国語2（光村図書）
対象生徒	中学2年

1.授業の目標

古典への興味関心を育てる。古人の考え方や風習を理解し、古典に親しみをを持たせる。
基本的な文法事項を理解する。

到達目標

- (ア) 古文・漢文を読み慣れる。
- (イ) 百人一首を覚える。
- (ウ) 文法的な知識を得る。

2.副教材・参考書

- ・国語ワーク(光村教育図書) ・新国語便覧(秀学社) ・文法の学習(浜島書店)
- ・小倉百人一首(京都書房)

3.学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- (ア) 古文・漢文のリズムを体得できるように音読をする。
- (イ) 予習・復習を宿題という形で随時出すので、生徒たちは必ず宿題を終えた上で授業に参加する。
- (ウ) 授業の内容は毎時間明確に提示し、終了時に確認する。
- (エ) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (オ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4.宿題・課題・再試について

- (ア) 宿題…原則、毎時間出す。
内容は授業で学習した範囲の復習と次の授業の予習を中心とする。
- (イ) 課題…1単元終了ごとに単元別試験を実施する。暗唱テストなどを行う場合もある。

5.評価の基準について

現代文分野と合算し評価する。

6.書写について

2か月に1時間の書写の時間を設ける。 担当教諭：酒井 篤史

年間指導計画				
学期	月	教科書ページ 単元配当時間	授業内容（教材）	指導内容・単元目標・備考等
第一学期	4	文法の学習 P. 38～73 P. 28～P. 31	百人一首 1～40	・歴史的仮名遣いが正しく読みながら、短歌のリズムを味わう ・文法的な理解 ・冒頭暗唱 ・古典の文章を朗読し、その表現に慣れ、作品を読み味わう。
	5		文法 ①名詞・代名詞 ②動詞 ③形容詞 ④形容動詞	
	6		『枕草子』 冒頭 うつくしきもの 月のいと明きに	
	7			
第二学期	8	文法の学習 P. 74～117 p 150～161	百人一首 41～80	・歴史的仮名遣いが正しく読みながら、短歌のリズムを味わう ・文法的な理解 ・冒頭暗唱。音読することで七五調のリズムを味わう。 ・場面の状況や登場人物の心情を考える。 ・古典の文章を朗読し、その表現に慣れ、作品を読み味わう。
	9		文法 ⑤副詞 ⑥連体詞 ⑦接続詞・感動詞 ⑧助詞 ⑨助動詞	
	10		『平家物語』 冒頭 扇の的	
	11		『徒然草』 冒頭 仁和寺の法師	
	12			
第三学期	1	P. 118～127 P. 162	百人一首 81～100	・歴史的仮名遣いが正しく読みながら、短歌のリズムを味わう ・文法的な理解 ・漢詩の基本を学び、独特のリズムを味わう → 暗唱
	2		文法 ⑩紛らわしい語の識別 ⑪敬語	
	3		漢詩の風景	

③ 中学2年 国語（講読・表現分野）

単位数	5単位の1
担当	渡部 佳乃子
教科書	指定された図書・国語2（光村図書）
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

「言葉」を楽しみ、文学作品に親しむ気持ちを育てる。

教科書の「話すこと」「聞くこと」「書くこと」の分野を学習し、国語の応用・発展的な力をつける。

到達目標

（ア）本を年間30冊以上読む。

（イ）読んだ本について感想や意見を書くことができる。

（ウ）自分の考えたことを文章にまとめたり、スピーチをしたりして伝えることができる。

（エ）初見の文章を読み解く力をつける。

2. 副教材・参考書

・新国語便覧（秀学社） ・プリント

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

（ア）学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。

（イ）提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

（ア）宿題…月に一度読書シートを提出する。

（イ）課題…1単元終了ごとに、レポート作成やスピーチの発表会を実施する。

5. 評価の基準について

課題の評価を中心として評価をつける。

上記の課題は主にパフォーマンス評価の中に盛り込むこととする。

6. 指定図書

『モモ』 ミヒヤエル・エンデ 岩波少年文庫

『光のうつしえ』 朽木 祥 講談社

単位数	4 単位
担当	萩原 信子, 二村 結衣
教科書	数研出版 これからの数学 2
対象生徒	中学 2 年生 必修

1. 授業の目標

文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。また、具体的な事象について観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を培う。

2. 副教材・参考書

数研出版 スタンダード問題集 2 年
新学社 数学のベーシックマスター 2 年

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習のポイント:教科書の内容を読み,その単元の関係ある中学 1 年までの内容をしっかり復習し理解しておく。
復習のポイント:その日の授業で解いた問題を,もう一度解き,答え合わせをする。この勉強を毎日積み重ねることにより,確実な力を身につける。また,1つの単元が終わるごとに,問題集等でもう 1 度自分の理解・記憶を確かめることも大事である。基本的な学力が身についたら問題集の応用問題を数多く解き,数学的な応用力・思考力を身につくように努力する。

4. 宿題・課題・再試について

- ◎M レンジテストは「数学のベーシックマスター2 年」の課題をテスト前に提出し,テストを行う。
70 点未満は不合格とし,再試を行う。テスト前の課題提出は,提出点に含む。
- ◎単元テスト前に「スタンダード問題集 2 年」の課題を提出する。提出点に含む。
- ◎宿題は,プリント,問題集など適宜出題する。
- ◎定期試験(単元及びまとめテスト)では,50 点未満は不合格とし,再試を行う。

5. 評価の基準について

- ◎以下の割合で,定期試験・学力試験・パフォーマンスにて 10 段階評価をつける。
 - ・定期試験(単元及びまとめテスト)の平均点 (50%)
 - ・学力試験(30%)
 - ・パフォーマンス評価(学期ごとに変更することもある。変更する場合は,学期の始めの授業で連絡する。)
- M レンジテスト (10%) 及び 提出物 (10%)

◎以下の表のように観点別評価をつける。

	復習・基本問題	応用・初見問題	パフォーマンス(提出物・小テスト等)
A	基本的な問題は概ね解くことができる。	高度な思考力を要する問題を解くことができる。	授業に意欲的に参加。課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題が解くことができる。	知識を応用して問題を解くことができる。	多少遅れることもあるが課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	基本的な事項・知識は理解している。	応用問題にも取り組む姿勢がみられる。	課題に取り組もうとしている意欲は感じられる。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

	復習・基本問題	応用・初見問題	パフォーマンス(提出物・小テスト等)
A	80%～100%	80%～100%	80%～100%
B	30%～80%	30%～80%	30%～80%
C	0%～30%	0%～30%	0%～30%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

試験の内訳は、復習問題10％，基本問題70％，応用・初見問題20％程度とする。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	単元①（5月）	1章 式の計算 ① 式の計算
	単元②（5月）	1章 式の計算 ②文字式の利用
	単元③（6月）	2章 連立方程式 ①連立方程式
	まとめ	単元テスト①～③のまとめテスト＋連立方程式の利用
二学期	単元⑤（9月）	3章 1次関数 ① 1次関数
	単元⑥（9月）	3章 1次関数 ② 1次関数と方程式 ③ 1次関数の利用
	単元⑦（10月）	4章 図形の性質と合同 ① 平行線と角
	単元⑧（11月）	4章 図形の性質と合同 ② 三角形の合同 ③ 証明
	まとめ	単元テスト⑤～⑧のまとめテスト
	単元⑨（12月）	※評価は3学期分とする 5章 三角形と四角形 ① 三角形
三学期	単元⑩（1月）	5章 三角形と四角形 ② 四角形
	単元⑪（2月）	6章 データの活用 ①データの散らばり ②データの傾向と調査
	まとめ	単元テスト⑨～⑫のまとめテスト＋確率

単位数	6 単位
担当	柳澤、山本、プリヤンカ
教科書	Here We Go (光村出版)
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

- (1) 教科書の表現を利用して、自分の言葉で身の回りのことを表現できる英語力を身に着ける。
- (2) 自分に必要な課題を設定して、自ら学ぶ姿勢を養成する。
- (3) 教科書の内容を何度も繰り返し、聞く・書く・話す・読むことによって、中学英語の定着を図る。

2. 副教材・参考書

- 光村図書版 ラウンドシステムワークブック、中学必修テキスト
- 正進社 New Listening Plus 2

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習のポイント：各 Unit の内容を音声で聞いて、音声から内容を理解する。

復習のポイント：その日にならった Unit の内容を何度も聞いたり、音読したりする。暗唱できるぐらい音読することが英語力の土台を築くために重要である。
また、英語は日頃から自分で楽しく自己学習できる学習方法を模索することが大切なので、English Marathon という自己学習記録表を活用して、日々楽しみながら英語学習方法を継続できるように工夫をする。

4. 宿題・課題・再試・評価について

- ・ E' Range Test は隔週 1 回程度実施。70 点未満の者は再試をする。
- ・ 宿題は、音読・ワークブック・ライティング等を適宜課題として出す。
- ・ 単元テストは結果の 50% 未満は再試あり。

5. 評価の基準について

- ・ 単元テスト (50% の評価)、学力試験 (30% の評価)、パフォーマンス評価 (20%) により評価する。
パフォーマンス評価は英会話の授業での発表が 10% の評価、提出物が 10% の評価となる。
- ・ 以下の表のように観点別評価をつける。

	基本問題 (定期試験)	応用問題 (定期試験・発表)	パフォーマンス (提出物・小テスト等)
A	基本的な問題は概ね解くことができる。	高度な思考力を要する課題・問題に対応できる。	授業に意欲的に参加。課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題が解くことができる。	知識を応用して課題・問題に取り組むことができる。	多少遅れることもあるが課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	基本的な事項・知識は理解している。	授業を応用した課題・テストにも取り組む姿勢がみられる。	課題に取り組もうとしている意欲は感じられる。

6. その他

- ・ English Marathon (学習記録表) を課す。自分にとって必要な英語課題を探して、毎日継続すること。
- ・ 受験問題にも対応できるように長文読解も授業の中に取り入れていく。また、スピーチコンテストへ向けて積極的な参加を促す。

授業計画		
学期	単元テスト	授業内容（教材）
一学期	4月 単元テスト1	Round1&2 Unit1～Unit3 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれの Unit のストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	5月 単元テスト2	Round3&4 Unit1 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit1 本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	6月 単元テスト3 単元テスト4	Round3&4 Unit2&3 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit2&3 本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	7月 単元まとめ テスト	単元テスト1～4の内容をまとめるテスト。
二学期	9月 単元テスト5	Round1&2 Unit4～Unit6 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれの Unit のストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	10月 単元テスト6 単元テスト7	Round3&4 Unit4&5 音読と教科書の内容の定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit4&5 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	11月 単元テスト8	Round3&4 Unit6 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit6 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	12月 単元まとめ テスト	単元テスト5～8の内容をまとめるテスト。
三学期	1月 単元テスト9	Round1 Unit7～Unit8 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれの Unit のストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	2月 単元テスト10	Round2&3&4 Unit7&8 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit7&8 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	2月 単元まとめ テスト	単元テスト9～10の内容をまとめるテスト

単位数	4 単位
担当	山田
教科書	未来へひろがるサイエンス (啓林館)
対象生徒	中学 2 年生

1. 授業の目標
- 科学的現象についての実験・観察を行い、自然に対する関心を高め、基礎知識を身につける。
2. 副教材・参考書
- 新ワーク理科 2 (好学出版)
3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等
- 授業後にその日学習した内容について、教科書・ノートを見直し、復習をする。
- 副教材のテキストを解き、基礎用語を確認し、応用問題で分からないところは質問をする。
4. 宿題・再試について
- 宿題：定期的に問題集を宿題として出す。提出状況をパフォーマンス評価の対象とします。
- 長期休暇には、別問題集やレポートなどを宿題として出します。
- 再試：単元別 (まとめ) 試験の点数が基準に満たない場合、再試験や課題を行います。
5. 評価の基準について
- ・定期試験 (50%)、学力試験 (30%)、パフォーマンス (20%) により評価をする。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	知識・技能 基本問題(定期試験)	思考・判断・表現 応用問題(学力試験)	主体的に学習に取り組む態度
A	基本的な問題を概ね解くことができる。 (得点率 80%～100%)	高度な思考力を要する問題を解くことができる。 (得点率 80%～100%)	授業に意欲的に参加。課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題を解くことができる。 (得点率 30%～80%)	知識を応用して問題を解くことができる。 (得点率 30%～80%)	多少遅れることもあるが課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	理解する努力を要する。 (得点率 0%～30%)	継続的な学習を要する。 (得点率 0%～30%)	主体的に参加する態度を要する。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他
- 授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容
一学期	単元①	[生物] 生物の体のつくりとはたらき 1 章 生物の体をつくるもの 2 章 植物の体のつくりとはたらき
	単元②	3 章 動物の体のつくりとはたらき 4 章 動物の行動のしくみ
	単元③	[化学]化学変化と原子・分子 1 章 物質の成り立ち 2 章 物質の表し方
二学期	単元④	3 章 さまざまな化学変化 4 章 化学変化と物質の質量
	単元⑤	[物理]電流とその利用 1 章 電流の性質
	単元⑥	2 章 電流の正体 3 章 電流と磁界
三学期	単元⑦	[地学]地球の大気と天気の変化 1 章 地球をとり巻く大気のように 2 章 大気中の水の変化
	単元⑧	3 章 天気の変化と大気の動き 4 章 大気の動きと日本の四季

単位数	3 単位
担当	根本
教科書	・ 社会科 中学生の地理 (帝国書院) ・ 中学校社会科地図 (帝国書院) ・ 中学社会 歴史 未来をひらく (教育出版)
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

【地理】

- ・ 世界地理の確認 (オセアニア州)
- ・ 日本列島の自然・産業を見渡し、世界における日本の位置づけを理解する。
- ・ 身近な地域の自然や産業を通し、地理的な視点で地域をとらえられるようにする。
- ・ グラフや表の読み取りを通じ、客観的な視点を持ち、読み取ったことを表現できるようにする。

【歴史】

- ・ 世界の歴史を背景に日本の歴史の大きな流れを理解する。
- ・ 歴史についての学び方や考え方を身につけ、多面的・多角的な見方ができるようにする。

2. 副教材・参考書

- ・ アドバンス 中学地理資料 (帝国書院)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・ 事前に教科書に目を通し、全体の把握を出来るようにしておくこと。
- ・ わからない語句、ことがらをそのままにしないように。積極的に質問する、調べる、考えることを習慣づけるようにしましょう。

4. 宿題・課題・再試について

- ・ 長期休暇や授業の内容によって、課題や調べ学習の宿題が出される。適宜、小テストを実施する。
- ・ 単元テスト・まとめテストの結果が 50 点未満の場合は再試を受験しなければならない。再試に代わる課題を課す場合もある。

5. 評価の基準について

- ・ 単元テスト・まとめテストの平均点(50%)、外部試験(30%)、パフォーマンス評価(20%)により評価をする。
- ・ 以下の表のように観点別評価をつける。

	まとめテスト 基礎問題	外部試験 応用問題	課題・発表・提出物 パフォーマンス
A	基本的な問題を概ね解くことができる(得点率 80%～100%)	資料の読み取りや記述問題に対する解を、的確に表現できる(得点率 80%～100%)	授業やグループワーク、課題等に積極的に取り組み、自分自身の考えを伝え、表現することができる
B	基本的な問題を解くことができる(得点率 80%～30%)	資料の読み取りや記述問題に取り組むことができる(得点率 80%～30%)	授業やグループワーク、課題等に協力し、活動ができる
C	基本的な問題を理解する努力を要する(得点率 0%～30%)	資料の読み取りや記述問題に向き合う姿勢が見られる(得点率 0%～30%)	授業やグループワーク、課題等に参加し、活動ができる
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

- ・ 授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	単元別 テスト ①・② まとめ テスト	【歴史】 ・天下統一を目指して ・近世社会への幕開け ・城と茶の湯 ・泰平の世の土台づくり ・東南アジアに広がる日本町 ・開かれた窓 ・身分ごとに異なる暮らし ・将軍のおひざもと、天下の台所 ・花開く町人文化 ・連判状にまとまる人々 ・繰り返される政治改革 ・「読み・書き・そろばん」の習い 【地理】 ・オセアニア州 ・日本のさまざまな地域（地形、気候、自然災害など） ・日本の人口、資源、エネルギー、産業
二学期	単元別 テスト ③・④ まとめ テスト	【歴史】 ・近代の幕開け ・王は君臨すれども統治せず ・代表無くして課税なし ・「世界の工場」の光とかげ ・強大な国家を目ざして ・御政事売り切れ申し候 ・近代の日本と世界 ・万機公論に決すべし ・人民に上下の別なき ・学問は身を立てるの財本 ・ザン切り頭をたたいてみれば 【地理】 ・日本の産業のつづき ・日本の交通網・通信網 ・さまざまな地域区分 ・日本地誌（九州地方、中国・四国地方、近畿地方）
三学期	単元別 テスト ⑤ まとめ テスト	【歴史】 ・智識を世界に求めて ・民撰議院を開設せよ ・憲法の条規により之を行う ・対等な条約を求めて ・朝鮮をめぐる戦い ・「眠れる獅子」に迫る列強 ・列強との戦い ・変わりゆく東アジア 【地理】 ・日本地誌 （中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方）

宗 教(2023 年度)

単位数	1 単位
担当	中村 友恵
教科書	駒沢学園の仏教（駒澤学園） 道徳 2(光村図書)
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

駒沢学園の歴史と建学の精神を理解し、仏教主義学校としての理念を学ぶと共に、道徳に替わる教科として宗教に関する一般的な知識と教養を養い、興味関心を高めることにより、現代社会の諸問題に関する考察力を身に着ける。

〔中期目標〕

建学の精神・日々のお唱えの意味と目的を学ぶことにより、駒沢学園がめざす生徒像を理解すると共に、釈迦の生涯を学ぶことにより、仏教の持つ道徳的な考え方を理解し、自分で考え行動できるようになる。

〔長期目標〕

仏教を基盤とした道徳的な理念を理解し、より良き生きるためにどのように行動すべきか考えられるようになる。あわせて、「いのち」について考え、どのように生きていくことが大切か、各自が自分のこととして考えられるようになる。

2. 副教材・参考書

駒沢学園の仏教（駒澤学園）
道徳 2(光村図書)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

朝礼や終礼・会食でお唱えする「三帰礼文」・「四弘誓願文」・「五観の偈」などを、丁寧にお唱えしましょう。また、式典への積極的な参加や挨拶や清掃など日々の活動を大切にすることが、授業の理解にもつながります。試験に向けては、テキストをきちんと読めるようになっておいください。

4. 宿題・課題・再試について

宗教科の授業で取り上げる社会の諸問題に関する探究授業では、グループワーク・発表を含みます。

視聴覚教材を見ての、感想や意見などをロイロノートに提出します。

予習・復習課題は、ロイロノートに提出します。

坐禅実習には真剣に取り組みましょう。

5. 評価の基準について

・単元テストの得点(70%)，提出物と坐禅実習(30%)により評価をする。

評 価 方 法	割 合	評 価 基 準
単元テスト	8 0	単元テストの点数
提 出 物	2 0	授業ごとのまとめや課題、予習復習内容など。

・以下の表のように観点別評価をつける。

	定期試験	定期試験・提出物	提出物・坐禅実習
A	基本的な問題は概ね解くことができる。 70%～100%	思考的問題を解くことができる。論理的に自分の考えを表現できる。	坐禅実習に積極的に参加し、課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題が解くことができる。 40%～70%	知識を応用して問題を解くことができる。論理的に自分の考えを表現しようと努力している。	坐禅実習に積極的に参加し、多少遅れることもあるが、課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	基本的な事項・知識は理解している。 0%～40%	応用問題にも取り組む姿勢がみられる。自分の考えを表現しようとしている。	坐禅実習に参加し、課題に対する意欲がある。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

- ・授業内容は、実際の授業時間数などにより、順番が前後したりすることもあります。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	1、「花まつり」について【p 52～p 56】 ・「花まつり」が日本の季節の行事としてどのように受け入れられていたかについて学ぶ。 ・「花まつり」を題材として、「生命の誕生」とは何か、「いのち」とは何か考える。 2、釈迦の生涯について（1） ・誕生から出家までを学習し、釈迦の悩みについて、現代社会での問題と照らし合わせながら考える。 3、「五観の偈」を通して、現代の食・食育についての問題点などについて考える。 4、「坐禅実習」
二学期	期末	1、「追善記念日」について【p 57】 ・学校行事としての「追善記念日」 ・「死」とはどのようなことか考える。 ・日本人は死についてどのように考えたのか、「地獄」・「極楽」などと結びつけながら学習する。 2、釈迦の生涯について（2） ・修行から成道までを学習し、釈迦の悩みについて、現代社会での問題と照らし合わせて考える。 3、「摂心会」と「成道会」について【p 58～p 61】 ・学校行事としての「摂心会」と「成道会」 ・摂心会が日本にどのように取り入れられてきたのか考える。 ・自分の生きる目的や意義について考える。 4、写経・写仏 5、坐禅実習
三学期	学年末	1、「誕生記念日」について【p 62～p 63】 ・学校行事としての「誕生記念日」について考える。 2、「涅槃会」について【p 64～p 65】 ・学校行事としての「涅槃会」について考える。 3、釈迦の生涯（3） ・釈迦の教えと涅槃までについて学習する。 4、「山上忌」について【p 66～p 67】 ・学校行事としての「山上忌」について考える。 5、坐禅実習

保健体育 (2024 年度)

単位数	3 単位
担当	樋口
教科書	最新中学校保健体育（大修館）
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

- 運動の楽しさや喜びを味わい、基本的な技能を身に付ける。
- 運動を通して体力の向上を図る。
- 競走や協同の経験を通して公正さ・協力性・自分の役割を知ること育てる。
- 生涯を通しての健康の大切さを学ぶ。

2. 副教材・参考書

ステップアップ中学体育（大修館）

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ケガのないように準備運動をしっかりと行う。
- 説明をしっかりと聞き、安全を第 1 に考える。

4. 宿題・課題・再試について

各運動における競技施設やルールについて調べ学習をおこなう。

5. 評価の基準について

- 保健の定期試験（40%）、実技試験（40%）、課題提出（20%）により評価をする。
- 以下の表のように観点別評価をつける。

	実技試験	保健試験	パフォーマンス(提出物・小テスト等)
A	80%～100%	80%～100%	80%～100%
B	30%～80%	30%～80%	30%～80%
C	0%～30%	0%～30%	0%～30%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

授業計画（保健）		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	単元まとめテスト	調和のとれた生活 健康の成り立ち 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 心身の発達と心の健康 体の発育・発達 呼吸器・循環器の発育・発達 生殖にかかわる働きの違い 性への関心と行動
二学期	単元まとめテスト	知的機能・上位機能の発達 社会性の発達と自立 自己形成 欲求とその充足 心と体のかかわりとストレス ストレスへの対処のしかた 生活習慣の健康への影響 生活習慣病 生活習慣病の予防 がんとその予防
三学期	単元まとめテスト	生活習慣病・がんの早期発見とその回復 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処

授業計画（体育）		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	実技	スポーツテスト 50M走・ハンドボール投げ・立ち幅跳び 体育祭種目練習 水泳 クロール・平泳ぎ
二学期	実技	バレーボール アンダーハンドパス オーバーハンドパス 対人パス サーブ スパイク ゲーム 持久走 グラウンド3周・5周
三学期	実技	創作ダンス グループ分け・選曲・創作 発表会 縄跳び 縄跳び検定

単位数	2 単位
担当	川里
教科書	NEW 技術・家庭（教育図書）
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2. 副教材・参考書

〈実習教材〉 ・スマートショルダー（アイセック） ・平面計画シミュレーションシール（クロスサム）
〈ビデオ教材〉 ・ぼくが命をいただいた 3 日間 ・ブタがいた教室

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

配付するプリント冊子はノート代わりとなり試験範囲の大半を占めるので、しっかり記入し復習も行うこと。

4. 宿題・課題・再試について

パフォーマンス評価対象となる課題の他、必要に応じてプリントを配付する場合がある。
まとめテストの結果が 50 点未満の場合は課題を課す。

5. 評価の基準について

まとめテスト(80%)、作品またはレポート・発表(20%)で評価する。以下の表のように観点別評価をつける。

	まとめテスト	レポート・発表	作品
A	ほとんどの問題を解くことができる。	よく調べ、まとめている。課題の意図を正しく理解し、表現できる。	意欲的に取り組んでいる。細部にも気を使い、完成度の高い作品に仕上げている。
B	概ね理解できている。	課題の意図を正しく理解し、表現することが概ねできている。	概ねできており、作品や課題から取り組む姿勢が感じられる。
C	基本的なことを理解し、取り組む姿勢がみられる。	課題に取り組もうとする意欲が感じられる。	課題に取り組もうとする意欲が感じられる。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

進捗状況により、パフォーマンス評価基準などを変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	まとめテスト	第 4 章 私たちの衣生活 ・自分に合った衣服を手に入れよう ・衣服の手入れをしよう（実習）スマートショルダー
二学期	まとめテスト	第 3 章 調理と食文化 ・食品の選択と購入について考えよう ・購入した食品を適切に保存しよう ・調理の基礎を知ろう ・肉を調理しよう ・魚を調理しよう ・野菜を調理しよう ・地域の食文化を知ろう ・和食の調理をしてみよう（レポート・発表）ビデオ教材を視聴し、命をいただくことについて考える。（調理実習）
三学期	まとめテスト	第 6 章 私たちの住生活 ・住まいの働きを知ろう ・家族が暮らしやすい住まい方を考えよう ・健康を守る室内環境の整え方を考えよう ・家庭内事故から家族を守ろう ・災害に備えた安全な住まい方を考えよう（実習）平面計画シミュレーションシール

中学 2 年
 音楽 (2024 年度)

単位数	1.5 単位
担当	平田亮介
教科書	中学生の音楽 2, 3 上 (教育芸術社)
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

音楽活動を通して、表現の能力を高めるとともに、音楽を愛する心を育む。
 音楽の構造に関心を持ち、主体的に表現を工夫して取り組む。

鑑賞を通して、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

2. 副教材・参考書

中学生の器楽 (教育芸術社)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

合唱、合奏はクラスで一つのもので作り上げることを主とするので、授業では指示や説明をしっかりと聞き、集中するよう心がける。(授業準備なども含む)

実技 (歌唱、リコーダー) の上達に向けて、積極的に授業に参加することが望ましい。

プリント類などの提出物は期限内に提出する。

授業内筆記テスト前には確認プリントを復習してから受験する。

歌唱や器楽の練習の参考になる音源や動画を使い、授業の振り返りを行う。

4. 宿題・課題・再試について

授業中に終わらなかった課題は宿題とする。

5. 評価の基準について

学期毎に授業内で筆記テスト (小テスト) と実技テスト (歌唱、リコーダー) を行い、実技テストを重視する。

実技試験の評価基準は、指導の中であらかじめ生徒に伝える。

以下の表のように観点別評価をつける。

	筆記テスト、 実技 (歌唱、リコーダー)	実技 (歌唱、リコーダー) 鑑賞	授業に対する取り組み方 課題、提出物
A	100%～80%	100%～80%	100%～80%
B	80%～30%	80%～30%	80%～30%
C	30%～0%	30%～0%	30%～0%
	知識、技能	思考、判断、表現	主体的に取り組む態度

6. その他授業計画は予定であり、内容が変更となる場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	歌唱 夢の世界を、翼をください 鑑賞 交響曲第 5 番 ハ短調 楽典 音符、休符について、音名
二学期	期末	器楽 (アルトリコーダー) オーラリー、アニーローリー 歌唱 夏の思い出、荒城の月、サンタ ルチア 仏教聖歌 (道元禅師賛歌、成道会の歌、四弘誓願文) 鑑賞 フーガト短調、オペラ「アイーダ」から
三学期	学年末	器楽 (アルトリコーダー) カノン 3、威風堂々 合唱 音楽発表会に向けて 鑑賞 歌舞伎「勸進帳」 創作 リズムアンサンブル

中学2年美術（2024年度）

単位数	1.5 単位
担当	高橋 千草
教科書	美術2・3年 光村図書
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

2. 副教材・参考書

特になし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業内で疑問を解決し、計画的に作品を完成できるような姿勢で参加することが望ましい。
- ・授業を欠席した場合は提出期限前までに放課後自主的に不足分を補う事が望ましい。
- ・課題制作の上で試行錯誤しながらも粘り強くチャレンジする姿勢が望ましい。
- ・課題は期限までに完成させ必ず提出する。

4. 宿題・課題について

- ・授業内で課題が完成されない場合は宿題となる。

5. 評価の基準について

- ・各学期の課題（提出物 100%）により 評価をする。
- ・以下の表のように観点別評価をつける

	課題（作品）	課題（作品）	作品に対する取り組み方
A	対象や事象を捉える造形的な視点について深く理解している。表現方法を創意工夫し、創造的により深く表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて深く考えると共に、主題を生み出しより豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的により深く表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
B	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えると共に、主題を生み出し豊かに発想し構想をし、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
C	対象や事象を捉えている。表現している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて知ると共に、主題を生み出し発想し構想をし、美術や美術文化を感じている。	美術の創造活動を行い表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

授業計画は予定であり、授業の進捗状況・臨時休校により課題の増減がある場合もある。

リモート授業等で授業内容の変更あり

	授業計画
1 学期	絵画（透視図法に気付く・知る・使う） 立体（木工）
2 学期	デザイン（イメージと形・色の関係） 鑑賞・研修旅行と共にゲルニカ
3 学期	アニメーション（コマ撮り）

単位数	1 単位
担当	権、栗山, 山本
教科書	オリジナルプリント
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標
 - ①韓国語の基礎を習得し、日常の挨拶や自己紹介を韓国語でできるようにする。
 - ②韓国の文化や生活に興味を持って、日本との違いを比較してみる。
2. 副教材・参考書
オリジナルプリント
3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等
授業で配布するプリントをファイリングして、毎回の授業に持ってくること。
授業で学んだ韓国語表現を家庭でも発音してみること。
4. 宿題・課題・再試について
りんどう祭に向けて、調べ学習やプレゼン用のスライド作成など課されることがある。
5. 評価の基準について
授業への出席状況によって評価する。
6. その他

授業計画	
学期	授業内容（教材）
前期 (りんどう祭まで)	1. 韓国語の挨拶 2. 韓国語で自己紹介 3. 韓国語の発音(母音と子音のしくみ) 4. ハングル文字の書き方 5. 韓国の文化と生活 6. K-POP について 7. 基本的な韓国語の文法 8～15. りんどう祭に向けての発表準備

21WS 前期(2024 年度)

単位数	1 単位
担当	中村、鈴木、高橋
教科書	オリジナルプリント
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標

- ①中国の音声と音のしくみに親しみ、日常の挨拶や自己紹介を中国語でできるようにする。
- ②中国の文化や生活に興味を持って、日本との違いを比較してみる。

2. 副教材・参考書

オリジナルプリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- 授業で配布するプリントをファイリングして、毎回の授業に持ってくること。
- 授業で学んだ中国語表現を家庭でも発音してみる。

4. 宿題・課題・再試について

りんどう祭に向けて、調べ学習やプレゼン用のスライド作成など課されることがある。

5. 評価の基準について

- ・授業への出席状況によって評価する。

6. その他

授業計画	
学期	授業内容（教材）
前期 (りんどう祭まで)	1. 様々な中国語の挨拶 2. 中国語で自己紹介 3. 中国の発音(ピンインと声調のしくみ) 4. 簡体字と繁体字 5. 中国の文化と生活 6. 中国語の歌 7. 基本的な中国語の文法 8. りんどう祭に向けての発表準備

単位数	1 単位
担当	石鎚, 平田, 山口
教科書	特になし
対象生徒	中学 1 年生～中学 3 年生

1. 授業の目標
- フランス語とともにフランスの文化に興味を持ち自ら探究し、その魅力を発信できるようになることを目標とする。言語そのものでは、日常に溢れるフランス語を見つけ、その読み方・響きに慣れていく。最終的にはフランス語で自己紹介が出来たり、旅行をした際に現地の人と最低限のコミュニケーションができるようにする。
- 文化の面では、絵画や音楽等の芸術、料理、ファッションなど、フランス由来のものが何かをまず知り、それらの魅力を探っていく
2. 副教材・参考書
- とくになし。教員作成の資料など
3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等
- フランス語独特の響き、リズムがあります。積極的に発音をして楽しんでいきましょう。
4. 宿題・課題・再試について
- りんどう祭前には、発表資料の作成などがあります。
5. 評価の基準について
- ・授業への出席状況によって評価する。
6. その他

授業計画	
学期	授業内容 (教材)
前期 (りんどう祭まで)	① オリエンテーション、ABC
	② 基本的な挨拶 1、体調を尋ねる
	③ 基本的な挨拶 2、名前を名乗る
	④ 国籍を述べる
	⑤ ②③④をもとに簡単な自己紹介をする (挨拶/名前/国籍)
	⑥ 「～が好きである」 1 J'aime+物
	⑦ 「～が好きである」 2 J'aime+動詞
	⑧ 「～が大好きである」、「～に住んでいる」
	⑨ ⑥⑦⑧をもとに少し踏み込んだ自己紹介をする (挨拶/名前/居住地/好きなこと/大好きなこと/よろしくお願いします)
	⑩ 「～お願いします」 (～s'il vous plaît.)、数の表現
	⑪ ⑩をもとにマルシェで買い物をする会話 1
	⑫ ⑩をもとにマルシェで買い物をする会話 2
	⑬ りんどう祭に向けて 自己紹介 (フランス語) と文化についての発表 (日本語) を行う ・授業：少し踏み込んだ自己紹介 (⑨) を発表に向けて復習・練習する 余裕があれば「シェルブールの雨傘」というミュージカル映画を細切れに鑑賞する ・グループワーク：3つの班に分かれフランスのグルメ、観光地、美術について調べ、発表用にまとめる

21WS 前期(2024 年度)

単位数	1 単位
担当	樋口 中野 二見 池永 菅
教科書	
対象生徒	中学 2 年生、3 年生

1. 授業の目標
- ①華道・茶道の体験を通して日本の文化を知る。
2. 副教材・参考書
3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等
- 実技を体験し、所作の意味を知る。
4. 宿題・課題・再試について
- 華道：毎時間花を生ける
- 茶道；毎時間お菓子をいただき、お茶をたてる。
5. 評価の基準について
- ・授業への出席状況によって評価する。
6. その他

授業計画	
学期	授業内容（教材）
前期 (りんどう祭まで)	1. 華道ガイダンス・講師のデモンストレーション 2. 6 回の実技 3. 茶道のガイダンス・講師のデモンストレーション 4. 7 回の実技

単位数	1 単位
担当	五十嵐 早川
教科書	iPad プリント
対象生徒	中学 2 年生、3 年生

1. 授業の目標
- ①アップル社が開発した、プログラム言語 swift を理解する。
②簡単なゲームを作ること できる。
2. 副教材・参考書
- iPad のアプリ
オリジナルプリント
3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等
- 授業で学んだ言語を繰り返し復習をすること。
4. 宿題・課題・再試について
- りんどう祭に向けて、プレゼン用のスライド作成や発表などをする。
5. 評価の基準について
- ・授業への出席状況によって評価する。
6. その他

授業計画	
学期	授業内容（教材）
前期 (りんどう祭まで)	1. 簡単なプログラム 2. 文法 1 四則演算 3. 文法 2 条件分岐 4. 文法 3 繰り返し 5. 文法 4 いろいろな色 6. ジャンケンプログラム 7. 夏休み課題 8. りんどう祭に向けての発表準備